



令和3年5月14日

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号 6993 東証第二部)
 問合せ先 財務経理部長 堀内 治芳
 (TEL. 03-6451-4300)

令和3年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

令和3年2月12日に公表しました令和3年3月期(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の通期連結予想値と本日公表いたしました実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 令和3年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	包括利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	百万円
前回発表予想 (A)	12,140	△492	△873	△1,847	△15.80	△835
今回実績値 (B)	12,606	△352	△712	△716	△6.13	△772
増減額 (B-A)	466	140	161	1,131	9.67	63
増減率 (%)	1.0%	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (令和2年3月期)	17,270	136	△391	△1,844	△15.77	△15.77

2. 差異の理由

売上高につきましては当社根幹会社である株式会社大黒屋(以下「大黒屋」という。)において、安定的質収入を確保しつつ、主にインターネットによる売上が、広告効率の改善等の継続的なEC販売の強化活動に加え、外出自粛の影響による追い風を受け堅調に推移した事によるものです。営業利益及び経常利益については、売上高の業績予想値が上振れした事に付随して夫々改善しました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、主に、上記に加え、英国のSPEEDLOAN FINANCE LIMITEDを中心とするグループの清算が完了しなかったため、為替換算調整勘定取崩損が発生しなかった事に起因するものであります。

この結果、当社グループの令和3年3月期通期実績値は、各収益指標におきまして、夫々業績予想値を上回る数値となりました。

以上